

「卒業発表会」

岐阜城北高生が  
医療用品を寄付

市消防本部などに

岐阜市の岐阜城北高で十九日、総合学科ビジネス系列の三年生五十三人が、市消防本部と山県市の岐北厚生病院にマスクや消毒用アルコールなどの医療用品を贈った。

同系列の生徒たちは一年間、企業を通して県外の産品を取り寄せて販売し、マーケティングや取引の方法などを学ぶ同校独自の活動「Co-Market」に取り組んだ。

この日は三年生による所属コース別の学習成果発表会があり、活動の利益を地域に還元しようと、発表会に合わせて寄付。土田真穂さん(も)は「普段なかなか伝えられなかった感謝を伝えられ、良い経験になった」と話した。

贈呈を受けた市消防本部

の早川誠消防次長は「本当にありがたい。有効活用させてもらいたい」と感謝。

岐北厚生病院の矢島昌夫事務局長は「生徒さんたちから気にかけてもらいうれしい。勇気をもらった」と笑顔で話した。(酒井貴之)



生徒たちから寄贈を受けた矢島さん(左から3人目)、早川さん(同4人目) 岐阜市の岐阜城北高で

こよみ	
21日	(旧12月19日)
日出	6:59
日入	17:09
月出	20:15
月入	9:08
月齢	18.4

「卒業発表会」

岐阜城北高で卒業発表会

学んだ3年間の証し堂々

岐阜城北高校(岐阜市三田洞)3年生223人による卒業発表会が19日、同校で開かれ、3年間の学習の集大成を堂々と発表した。

総合学科、生活文化科の各専攻、コースごとに成果を披露。発表はオンラインで配信され、1、2年生と保護者が視聴した。総合学科美術専攻の生徒6人は、「百花繚乱」をテーマにそれぞれの個性を生か

油絵や陶芸作品  
オンライン配信

して取り組んだ油絵やデッサン、陶芸作品などを紹介。大好きな土方歳三と自分自身を油絵で描いた谷口瑞佳さん(18)は「刀や梅の花など、土方歳三にまつわるものをうまく作品に取り入れて表現できた」と胸を張った。

同科ビジネス系列の生徒は、全国各地から名産品を取り寄せ、昨年11月に地域住民向けにバザーを実施した成果を報告。売上金の一部でマスクやアルコール消毒液などを購入し、この日、市消防本部と岐北厚生病院に寄贈した。(山田雄大)



オンラインで卒業作品の見どころを紹介する生徒=岐阜市三田洞、岐阜城北高校